

# 令和元年 第2回定例会 一般質問内容一覧

日時 6月4日(火) 午前9時30分～(質問順: 1番から3番)  
場所 新宮町役場 3階 議事堂

質問順	氏名	質問事項	具体的質問内容	答弁者
1番	大牟田 直人 議員	1) ボランティア活動を活性化する取り組みを	現在、新宮町では、しんぐるっつや育成会などのさまざまなボランティア団体が活躍している。また、地域サロンや新宮町クリーン作戦、楯の松原保全活動、立花山清掃などのボランティア活動にも世代を超えて多くの人たちが参加しており、協働のまちづくりの大きな力になっている。 ボランティアの活動を活性化することが、さらなる町の力につながると感じる。 そこで次のことを伺う。 1. ボランティア活動の成果を広く公開することが、参加者がやりがいを感じることににつながると思う。ホームページ等を活用し、さらなる成果の公開ができないか見解を伺う。 2. 今後、ボランティア活動に参加したい中高生が増えてくることが予想される。中高生ボランティアを活用することが、町の力になり、中高生が町に誇りを持ち、郷土愛を育むことにもつながると感じる。中高生のボランティアをさらに活用する取り組みはできないか見解を伺う。	町長 教育長
		2) 放課後や休日の子どもの居場所づくりを	放課後や休日に子ども達が安全で安心して過ごせる居場所があることが、子どもたちの社会性や自尊心を育むことにつながると思う。また、自習場所を求める中高生の声も多く聞く。そこで次のことを伺う。 1. 近隣の自治体の児童センターのような、小中高生が安心して集い、遊び、学べるような居場所づくりができないか。 2. 自習室の設置など、さらなる自習場所の提供はできないか。	教育長 町長
2番	上畝地 白馬 議員	1) 超高齢化社会に向け健康寿命を延ばす対策は	超高齢化社会「人生100歳時代」が到来するといわれている。本町では、町民が生涯にわたって健康で充実した人生を送れるように介護予防サポート事業などで高齢者の健康増進を進めているが、さらに全世代の健康寿命を延ばすための対策をしなければならないと考える。 そこで、以下のことについて伺う。 1. 子どもから大人までがより健康である事を常に意識し、健康であることが美德であるような意識改革につながる「健康ポイント制度」などの取り組みを町全体で行うことはできないか。 2. 広報誌やホームページ、アプリ、面談などで、町民のヘルスリテラシー(個人が健康課題に対して適切に判断を行うために、必要となる基本的な健康情報やサービスを獲得、処理、そして理解する能力)の向上につながる情報提供や啓発活動はできないか。	町長
3番	安武 久美子 議員	1) 幼児教育・保育無償化に向けた準備の進捗は	5月に成立した幼児教育・保育と高等教育の無償化法案のうち、幼児教育・保育無償化が10月にスタートする。 3歳児から5歳児(就学前3年間)は全ての子どもが対象で、0歳児から2歳児は住民税の非課税世帯が対象となり、認可外保育施設など一部の施設を除き原則手続き不要であると聞く。 そこで、次のことについて町の見解を伺う。 1. 3歳児から5歳児、0歳児から2歳児それぞれの対象世帯数はどれくらいなのか。 2. 具体的な手続き方法や時期などを明確にし、早期に保護者へ周知徹底を図るべきだと考えるが、見解は。 3. 認可外保育所や複数の施設を利用する場合の支払方法については「償還払い」や「差額のみ支払」などの方法が考えられるが、若い世帯に対して負担を軽減するような方法は検討されているのか見解を伺う。	町長 教育長

※質問事項、具体的質問内容については、原文のまま記載しています。

※役場、シーオー新宮、そびあしんぐうにおいて、議会中継を行っています。ぜひ一度ご覧ください。

※お手元のパソコンから新宮町議会にアクセスしてください。議会中継・録画配信を行っています。ぜひご覧ください。

※議場での傍聴を希望される方は、当日午前9時から**役場3階 議会事務局前**で受付を行っていますので、お越しください。

※詳しくは、役場議会事務局 TEL 963-1737(直通)までお問い合わせください。

**議会の傍聴にお越しください。**